

2017 年度

ロシア派遣留学報告書

留学先：ウラジオストク国立経済サービス大学

留学期間：8月29日（火）～12月27日（水）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016097
林 郁果

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	7
5	所感	1 1
6	おわりに	1 2
	謝辞	1 2

付録

	留学日誌	1 2
--	------	-----

1 留学先及び実習期間

留学先：ウラジオストク国立経済サービス大学

研修期間：平成 29 年 8 月 29 日（火）～平成 27 年 12 月 27 日（水）

※帰国は 12 月 28 日（木）

2 留学先概要

(1)大学について

ウラジオストク国立経済大学は、ロシア極東部のウラジオストクに位置する。1967年に開学し、経済はもちろん、ネイル・ヘアサロンなど多彩な8つの学部が存在する。学生の数は1万5000人を超え、4年間の学士課程の後に法科大学院、修士課程、博士課程に進学することも可能である。膨大な敷地の中には有料で使用することのできるトレーニングジムや屋内プールがある。そのほかにも、学生向けのカフェや食堂が点在している。大学に隣接している寮は1200名収容することができ、家賃により部屋の仕様は異なる。派遣留学参加学生は2人部屋で4か月を過ごした。

(2)大学で行われている教育について

ウラジオストク国立経済大学は、ロシア国内全体の大学格付けでは550大学中63位であり、サービス業の専門家を養成する大学の格付けでは全国1位を獲得している。留学生は、1クラス約10人で編成され、それぞれのレベルにあったロシア語を学ぶことができる。派遣留学参加学生は二つのクラスに分けられ、韓国人、北朝鮮人留学生と共に学んだ。少人数制で授業は行われるため、授業内で疑問に思ったことはすぐに教師に質問することができる。

3 留学目的

今回の研修の目的は、ロシア語の習得である。

現在の世界の公用語は英語であることは百も承知である。つまり、英語は話せて、書けて当たり前なの時代なのである。そんな時代の中で、どのようにして自分たちを輝かせることができるのだろうか？そう考えたときに、第二外国語を学ぶという選択肢が現れる。近隣国の母国語を学ぶことにより、プラスアルファを持った人間になることを目的とした。

では、なぜ日本で学ばずに留学をするのか？それは現地に住み、その国の文化に触れながら学ぶことによってより活用性のあるロシア語を学ぶことができるからである。どの言語でも当てはまることであるが、言葉の「ニュアンス」は、おそらく教科書では学びきれないくらいに難しい。しかし、数多くのネイティブスピーカーと日常会話を繰り返すうちに、徐々に「感覚」をつかむことができる。

また、学習面だけではなく四か月寮で生活することにより、自立した生活を送ることができる。将来必ず必要になるであろう炊事などをせざるを得ない状況になるので、生活力の向

上も目的とした。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は抜粋して付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
8	29 (火)		出発、到着
	30 (水)	校内オリエンテーション	市内オリエンテーション
	31 (木)	オリエンテーション	観光案内
9	1 (金)		
	2 (土)		
	3 (日)		
	4 (月)	プレースメントテスト	
	5 (火)	授業	授業
	6 (水)	授業	授業
	7 (木)	授業	授業
	8 (金)	授業	
	9 (土)		
	10 (日)		
	11 (月)	授業	授業
	12 (火)	授業	授業 (校外)
	13 (水)	授業	授業
	14 (木)	授業	授業
	15 (金)	校外学習 (1)	校外学習 (1)
	16 (土)		
	17 (日)		
	18 (月)	授業	授業
	19 (火)	授業	授業
	20 (水)	授業	授業
	21 (木)	留学生交流会	留学生交流会
	22 (金)	授業	
	23 (土)		
	24 (日)	トラ祭り	

	25 (月)	授業	授業
	26 (火)	授業	授業
	27 (水)	授業	授業 (郊外)
	28 (木)	授業	授業
	29 (金)	授業	
	30 (土)		
10	1 (日)		
	2 (月)	授業	授業
	3 (火)	授業	授業
	4 (水)	授業	授業
	5 (木)	授業	授業
	6 (金)	授業	
	7 (土)		
	8 (日)		
	9 (月)		
	10 (火)	授業	授業
	11 (水)	授業	授業
	12 (木)	授業	授業
	13 (金)	授業	
	14 (土)		
	15 (日)		バレエ観賞
	16 (月)	授業	授業
	17 (火)	授業	授業
	18 (水)	授業	授業
	19 (木)	授業	授業
	20 (金)	授業	
	21 (土)		
	22 (日)		
	23 (月)	授業	授業
	24 (火)	授業	授業
	25 (水)	授業	授業
	26 (木)	授業	授業
	27 (金)	授業	
	28 (土)		
	29 (日)		

	30 (月)	授業	授業
	31 (火)	授業	授業
11	1 (水)	授業	授業
	2 (木)	授業	授業
	3 (金)	授業	
	4 (土)		
	5 (日)		
	6 (月)	授業	授業
	7 (火)	授業	授業
	8 (水)	授業	授業
	9 (木)	授業	授業
	10 (金)	授業	
	11 (土)		
	12 (日)		
	13 (月)	授業	授業
	14 (火)	授業	授業
	15 (水)	授業	授業
	16 (木)	授業	授業
	17 (金)	授業	
	18 (土)	日本文化祭り	
	19 (日)		
	20 (月)	授業	授業
	21 (火)	授業	授業
	22 (水)	授業	授業
	23 (木)	授業	授業
	24 (金)	授業	
	25 (土)		
	26 (日)		
27 (月)	授業	授業	
28 (火)	授業	授業	
29 (水)	授業	授業	
30 (木)	授業	授業	
12	1 (金)	授業	料理教室
	2 (土)		
	3 (日)		

4 (月)	授業	授業
5 (火)	授業	授業
6 (水)	授業	授業
7 (木)	授業	授業
8 (金)	授業	
9 (土)		
10 (日)		
11 (月)	授業	授業
12 (火)	授業	授業
13 (水)	授業	授業
14 (木)	授業	授業
15 (金)	授業	バレエ観賞
16 (土)		
17 (日)		
18 (月)	授業	授業
19 (火)	授業	授業
20 (水)	授業	授業
21 (木)	授業	授業
22 (金)	授業	
23 (土)		
24 (日)		
25 (月)	授業	授業
26 (火)	成績表授与式	授業
27 (水)	校外学習 (2)	授業
28 (木)	帰国	

4 - 2 活動の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)校内オリエンテーション

円からループルへの両替を大学に付属している銀行で行った後、国際部の代表者とミーティングで留学に関するルールを確認した。

ii)市内オリエンテーション

予定表には「市内オリエンテーション」と書かれていたが、実際は自由時間であった。大学の近くに所在するスーパー、雑貨店、薬局で日用品をそろえることができた。

iii)オリエンテーション・観光案内

教師、ロシア人学生ボランティアと共にバスに乗り市内を観光した。午後は学生ボランティアと共に海沿いを観光し、その後はウラジオストクで有名なカフェで軽食を取った。ボランティアとの仲を深めることができた。

iv)プレースメントテスト

韓国人留学生と合同で、筆記、選択問題によるプレースメントテストが行われた。筆記の内容は、与えられた条件を満たし、自己紹介文を書くというものであった。選択問題はパソコン上で行われ、およそ80問出題された。これにより二つのグループに分けられた。結果は当日の午後に発表される。

v)校外学習（1）

ウラジオストク国立経済サービス大学の創立50周年記念のため、授業はなかった。4人のロシア人学生ボランティアと共に灯台へいった。

vi)留学生交流会

沿海の公園へバスと電車で向い、すべての留学生が、授業を受けているグループごとにレクリエーションを行った。レクリエーションによりもらえるポイントを競い、優勝グループには景品が贈られた。他のグループとも交流するとても良い機会であった。

vii)トラ祭り

シベリアトラの保護を訴えるために、毎年9月の最終日曜日に行われる祭り。毎年多くの地元の人々や現地の学生、留学生が参加し、ウラジオストクでは最も有名な祭りとなっている。

viii)バレエ観賞

自由参加ではあるが、マリインスキー沿海州劇場でバレエを観賞した。

ix)日本文化祭り

在ウラジオストク日本領事館で行われた。久々に本物の日本料理を食べることができた貴重なイベントであった。

x)料理教室

寮のキッチンで日本人留学生と、教師、ボランティアでボルシチ、ピネグレット（ロシア風サラダ）、アラジン（ロシア風パンケーキ）を作る予定であったが、ボルシチではなくチキンスープとなった。その場に居合わせた韓国人留学生も招き、およそ15人での食事となった。

xi)成績表授与式

成績表授与式兼ティーパーティーを行った。全員に成績表が配られた。

xii)校外学習（2）

教師と共に美術館を観た。名家の家をそのまま美術館として使用しており、ロシアに住む人のくらしを間近で見ることができた。

xiii)授業

時間割は下記のとおりである。

	月	火	水	木	金
8:30-10:00	Устная речь	Чтение	Устная речь	Грамматика	Грамматика
10:10-11:40	Грамматика	Практические русские разговоры	Аудирование	Чтение	Аудирование
11:50-13:20					
13:30-15:00	Основы изобразительной грамоты	Русские народные инструменты	Беседы по истории России	Российский Дальний восток	

クラスの説明

日本人留学生はプレースメントテストにより2クラスに分けられ、韓国人との合同クラスになる。

13:30-15:00のクラスは日本人だけのクラスとなる。

授業内容の説明

Устная речь

会話練習の授業。テキストを使い、日常生活に必要な単語を学んでいく。毎回ランダムにペアを組み、テーマに沿って短いディアログをつくり発表する。文法や格変化を正しく会話で使う力を身につけたり、ボキャブラリーを増やすことができた。

Грамматика

ロシア語文法の授業。会話や文章においてどのような文法を使用すべきか、また形容詞、名詞の格変化を学ぶ。ロシア語を学ぶ上で最も欠かせない授業であった。一冊のテキストが格変化ごとに分かれていて、とても学びやすかった。

Основы изобразительной

ロシアに伝わる民芸品を学ぶ授業。簡単にいうと美術の授業。オリジナルのマトリョーシカだけでなく伝統民芸品のホフルマやグジェリを描いた。実技と共に色の名前や複雑な形容詞を学ぶことができた。毎週1作品完成させるペースで授業は進んでいくので、少し気の詰まる時間であった。美術系が苦手な生徒には十分注意してほしい。

Чтение

読解の授業。毎回15文程度の同じ主人公に対するテキストを読み、付属の質問に答えていく。また、先生の指示する重要単語は毎月ディクタントが行われるため、必ず復習しなければならない。指定の動詞を使いオリジナルの文章を考える、という課題が高確率で出されるが、これを行うことにより、自然な文章を作る力をかなり養うことができた。またそれだけではなく、テキストをいかにロシア語らしく音読できるか、イントネーションを細かく指導してもらえる。

Практические русские разговоры

会話の授業。毎回およそ25行の少し長めのテキストを題材に、付属の質問に答える。この授業でもクラス内でランダムにペアを作り、短い会話文を作る。

Русские народные инструменты

ロシア民謡や伝統楽器について学ぶ授業。軍歌から子供向けの童謡まで、幅広く学ぶ。毎回4曲ほど歌った。クリスマスのシーズンには、ロシアに昔から伝わるクリスマスソングも歌う。

Аудирование

リスニングの授業。Устная речьと同じテキストを使用する。CDを聞き、文章中のブラン

クを埋める。慣れないうちこそ難しいが、徐々に耳が慣れてくるとともに、テキストに対し、ある程度の会話の予想をすることが可能になってくる。ここで養った力は、そのままロシア語を用いた会話で活用することができる。

Беседы по истории России

ロシアの歴史の授業。王子が存在していた時代から、最後の皇帝の時代までを学んだ。日本では学ばないようなことも習得することができるとても有意義な授業であった。

Российский Дальний восток

ウラジオストク国立経済サービス大学も所在している、極東地域に関する地理を学ぶ授業。気候、地形、民族、動物などに関する知識や単語を学ぶことができる。より深くロシアを知る手助けとなる授業であった。

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)ロシア語の習得

自分でも驚くくらいにロシア語を習得することができた。とはいえ、現在はロシア語検定などを受験していないため、明確には言い表すことができないが、自負はできる。授業でたくさん学ぶことがあったのはもちろんだが、ロシア人学生ボランティアとの会話の中や、お店で買い物をするうちに、より正しく自然なロシア語を身に着けることができた。

ii)自立した生活を送る

可能な限り生活費を抑えて生活したいと考えていたため、ほとんどの食事を自炊したり、衣類の洗濯も自分で行った。それによりある程度の生活力を身に着けることができるとともに、将来行うであろう一人暮らしのイメージもつかむことができた。

6 反省・課題

反省すべきこととして、主に学習面において留学のための準備が不十分であったということ上げる。現地での授業が始まると、共に学習する他国からの留学生とのレベルの差は顕著で、最初の一か月は非常に苦しい思いをすることとなった。ボキャブラリーはもちろんであるが、文法や格変化をしっかりと学んでから留学に臨むべきである。

4か月というのは言語を習得するにはとてつもなく短い期間である。日本にいる間、どの

ようにしてロシア語を学び続けていくかが最も重要である。外国語学習に終わりはないので、大学の中で行われるロシア語の授業だけではなく、自主的に学習を続けていくことを課題とする。

謝辞

ウラジオストク国立経済サービス大学でいつも熱心に指導して下さったすべての先生方、円滑に留学を行えるようにいつも協力して下さり、お忙しい中で常に派遣留学参加生徒の心配をして下さったアレクサンドル・プラーソル先生、神長英輔先生、その他大勢のすべての関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。また、新潟国際情報大学からの奨学金授与により、金銭的に安心して留学することができました。今回、このような貴重な4か月を過ごせたことは、すべて皆様のあたたかいご協力のもと実現したことであるということをお認め、深くお礼申し上げます。

付録：留学日誌

特記すべきことをまとめ、次年度以降派遣留学に参加する生徒に注意してほしい点を記載。

8月29日 火曜日 午前
出発 0753 新潟駅
到着 1910 ウラジオストク国際空港
内容 ・新潟駅から東京駅まで新幹線で移動 ・成田空港までバスで移動 ・成田空港で神長先生と合流、最後の事前研修 ・成田空港からウラジオストクまで飛行機で移動 ・ウラジオストクで入国審査

移動の所感

ウラジオストクと日本では、ウラジオストクが1時間早くなっている。そのため実際の

フライト時間はおよそ2時間弱であるため、フライトによる疲れは少ない。また、八月の下旬であったがウラジオストクは想像していたよりも気温が低かったため、羽織るものは必須である。空港に着くと、A・プラーソル先生が待機してくれているので合流する。大学の寮までは、大学が用意したバスで向かった。およそ40分かかるが、窓から見えるロシアの景色に、期待と不安が高まった。大学付近のスーパーで水と軽食を買うことができるが、手間がかかるので日本から持参することを推奨する。

8月30日 水曜日 午前
オリエンテーション
担当 スベトラーナ リュヴァ オリガ
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・外貨両替 ・IDカード作成 ・学生寮の規則 ・重要な連絡先について ・今後の予定について

オリエンテーションの内容・注意点

担当の教師（スベトラーナ）と国際課のリュヴァ、オリガから様々な説明を受けた。初めに、大学に付属している銀行で日本円からロシアルーブルへの両替を行う。

当時のレートは50~53ほどであった。毎日変動があるため、こまめに確認した方がよい。また、成田空港でも両替を行うことができるが、非常にレートが悪いためおすすめすることはできない。（私は1万円を空港で両替したが、4200ルーブルであった。これは単純なレートで表すと42であり、大学付属の銀行で換金した場合に比べると1000ルーブル以上損したことになる）

寮の鍵代金や、ビザ延長申請時にかかる手数料などをまとめて支払いをする。我々はそれぞれ3150ルーブルを支払った（日本円でおおよそ6300円）。鍵代金600ルーブルは最終日に返却されるため、覚えておく必要がある。

IDカードは、寮や大学出入り口に設置されているゲートを通る際に必要になるものである。カードに使用する写真は大学内で撮影したが、カードができるまでの間、仮のものを作ることになる。その際に証明写真があると非常に便利なので持って行った方がよいと感じた。

8月30日 水曜日 午後
市内オリエンテーション（自由時間）

- ・昼食
- ・日用品買い出し

昼食

昼食は寮に併設されているホテルの地下にある食堂でとった。ロシア料理であるボルシチやブリヌイもそろえてあり、味もよく値段も高くないので、ぜひ次年度の留学生にお勧めしたい場所である。



日用品買い出し

大学付近のスーパー、薬局、雑貨店で日用品をそろえた。この時点では先輩方がどの程度の物資を残していったのか知らなかったの、あとから買わなくてもよかった、と感じるものが2、3点あった。特に、すべての留学生に食器セット（皿、スープ皿、コーヒーカップ、スプーン、フォーク）が支給される。損失をした場合は弁償しなければいけないため注意が必要。

8月31日 木曜日 午前

オリエンテーション

内容

- | |
|-------------------------|
| ・アンケート（注意事項同意）
・健康診断 |
|-------------------------|

所感

健康診断は、大学の1階に所在している病院で行われる。胸部X線と、医師による検診がほんの少し行われる。女性はワンピースを着ていくと着脱が少し面倒であるため避けた方がよいと感じた。

8月31日 木曜日 午後

観光案内

所感

ロシア人学生ボランティア、ヴェロニカとアレクセイと共に、街へと行った。この日初めてウラジオストクのバスに乗った。運賃は21ルーブル（およそ42円）で一路線ならどこまででも乗ることができる。沿海の店を見てまわったり、ウラジオストクでも有名店である **Ух ты, влин!** に行くこともできた。店内ではブリヌイを食べながら、これからの留学生活についての目標を話し合い、不安に思っていることをボランティアに質問することができ、特に有意義な時間を過ごすことができた。

9月4日 月曜日 午前

プレースメントテスト

プレースメントテストの内容

筆記、選択問題が出題される。リスニングは項目としてないが、どのように書くか、パソコンを操作するかはロシア語で説明されるのでしっかりと聞く必要がある。筆記は、自己紹介文をかくというものであった。ボキャブラリーや文章校正力が必要となる。選択問題は、短い文章にブランクがあり、そこに何が当てはまるかを選択するものであった。格変化パターン、不完了、完了を理解しているかが問われる。

9月21日 木曜日 全日

留学生交流会

内容と所感

ほぼすべての留学生が交流する会である。バスで駅まで向かい、電車に乗り大きな公園でオリエンテーションをした。バレーボールや、言葉遊びなど様々なゲームをロシア語で行った。同グループで学ぶ韓国人留学生との交流も深めることができた。たくさんの人々と話すうちに、わからないなりに努力してロシア語で何かを伝えようとするこの大切さを学んだ。

9月24日 日曜日 全日

トラ祭り

内容および所感

ボランティアのナージャ、アレクセイと共に学校ごとに分かれ街の中心の通りを行進した。トラが主役の祭りということで、ほとんどの参加者がトラのフェイスペイントを施していた。路上でもフェイスペイントのサービスが行われていた。

ただ行進しただけであったが、ウラジオストクの活気を感じることができる機会であった。



10月15日 日曜日 午後

バレエ観賞

内容と所感

希望学生はバレエを観賞しに、マリインスキー沿海州劇場へ行った。バレエのチケットは席により異なるが、この時は400ルーブル（約800円）で見ることができた。やはり格安の席ということで、端側の席であったがそれでもバレエを十分楽しむことができた。

ほとんどの派遣留学参加生徒が初めて海外のバレエを生で観るのは初めてであり、全員が観てよかったと感想を述べていた。

11月18日 土曜日 午前

日本文化祭り

内容および所感

日本領事館で日本の文化を紹介する祭りが行われた。ボランティアのナージャとアレクセイと共に行った。会場ではなじみ深い日本のお菓子、塩ザンギや寿司なども売られていた。数人の派遣留学参加生徒は塩ザンギを購入し、日本の味を堪能した。日本のものが高額で売られているのを見て、日本のブランド力の高さを感じた。茶道教室も開かれるが、開催時刻が決まっているため注意が必要である。

12月1日 金曜日 午後

料理教室

内容および所感

スベトラーナ先生とボランティアナージャと共に料理をした。材料は前日に派遣留学参加生徒全員で最寄りのスーパーに買いに行った。料理の内容は、ボルシチ、ビネグレット、アラジンの三種類で、野菜や卵、鶏肉などを購入した。食品類は日本に比べるととても安く手に入るため、さほどの出費にはならない。

ただ、料理の方法などに関する意思疎通がむずかしいため注意が必要。実際にボルシチに使う野菜の下準備を間違え、ボルシチをつくることはできなかった。代わりにチキンスープを作ったがおいしく作ることができた。3部屋のキッチンをつかい、それぞれが野菜の下準備、肉の調理、アラジンの調理など分担して行い、協力して物事を成し遂げることができた。帰国まで残り一か月を切ったところで、日本人留学生以外とも友情をはぐくむことができ、とても良い時間であった。ただ、いまだにロシア語での会話に不

自由さを感じて悔しい思いもあった。

12月15日 金曜日 午後

バレエ観賞

内容および所感

今回も希望制であったが、グループ1と2に所属する韓国人留学生と日本人留学生は全員参加した。バレエは「白鳥の湖」であった。有名なバレエを観ることができるということもあり、とても期待していた。チケット代は600ルーブル（約1200円）と前回よりは少し高いが、それでも日本にはこの値段でバレエを観ることは到底無理であろうから、ロシアらしさを感じた。座席の良さとチケットの値段は比例するので、今回は比較的中央寄りの席であった。

内容であるが、ストーリーはもちろん、バレエや衣装、音楽や舞台美術に至るまですべてが美しかった。もちろん感じ方は個人により異なり、価値を見出さない人もいるだろうが、ぜひ次年度以降派遣留学に参加する生徒にも観に行ってもらいたいと思った。

19時頃から開演し、途中二回の休憩をはさんだ。終了時刻は22時頃となる。遅い時間ということもあり、4人ずつに分かれてタクシーで寮へと戻った。ロシアのタクシーのシステムは日本とは少し異なり、タクシー会社に直接電話をかけて呼び出すというのが一般的である。この時はスベトラーナ先生がタクシーを手配してくれたが、もし個人的に使う場合はスマートフォンで電話をかけられる状態にしなければならない。料金も個人で交渉するのが一般的である。

※公演中は撮影禁止だが、終わった後には撮影可能な時間がある。



12月26日 火曜日 午前

成績表授与式

内容および所感

ヴィクトリア先生とスベトラーナ先生と日本人留学生で成績表授与式を行った。スベトラーナ先生が作ってきてくださったリンゴのピロシキ（リンゴパイ）と、ロシアンティーをたしなみながら、留学中の思い出を語った。途中、思い出の写真などを見返し、長いようで短い4か月を振り返った。写真の入ったファイルをUSBに入れてもらったが、帰国後見返そうとしても閲覧することができなかった。ヴィクトリア先生からは、ウラジオストク国立経済サービス大学オリジナルのリストバンドをいただいた。

12月27日 水曜日 午前

校外学習（2）

具体的内容および所感

ドム＝ムゼイ・チノヴニカ・スハノヴァへ、ヴィクトリア先生と共に行った。入館料・レタリング体験費は200ルーブル（約400円）である。ウラジオストクの名家をそのまま美術館にしたもので、昔からのロシアの暮らしを感じることができた。ノーヴィーゴッド（新年・クリスマス）の季節であったため、館中

にはクリスマスツリーが飾られていた。

一通り館内を見終えるとロシア語でポストカードを書けるコーナーが用意されていた。日本でいうところの「新年あけましておめでとうございます」に近い文章がロシア語の筆記体でつづられており、それを真似して万年筆で書いてみるという内容であった。まだ慣れない筆記体に多くの派遣留学参加生徒は困惑していたが、記念品としてそれぞれのポストカードを書き上げた。

12月28日 木曜日 午前
帰国準備・出発
内容 ・部屋の整理整頓 ・備品返却 ・鍵返却 ・バスで空港まで移動 ・空港到着、出国審査

具体的内容と所感

朝10時に空港行のバスが出るため、それまでにすべての手続きを終わらせる必要がある。まず、キャリーケースに自分たちの荷物を詰めるのはもちろんであるが、寮に付属している寝具類は一階のランドリーに持っていく必要がある。食器類は傷ついていないかなどの確認を寮母がするため、持って行かない方がよい。確認作業に時間がかかるため、全員が余裕をもってやると良いと感じた。

寮の部屋の鍵を返却すると600ルーブル（およそ1200円）が返却される。空港で何かを買う資金にしてもよいと思うが、成田空港で日本円に替えることもできる。

10:05頃、留学初日と同じバスが大学に到着し、ボランティアのヴェロニカ、アレクセイと共に生徒はそれに乗り込んだ。バスの中から見える最後のロシアの風景に、安堵とさみしさがこみ上げた。

空港に到着してからは旅券の受け取り、出国審査があった。この時にキャリーケースが23キログラムを超えていると超過料金を徴収されるため要注意である。超えることがわかっている場合はルーブルを多めに持っておくとよい。

8月28日 木曜日 午後
出国・到着
内容

- ・ 搭乗
- ・ 成田空港到着
- ・ 入国
- ・ 解散

内容および所感

13:15 の飛行機に乗り、成田空港へとむかった。到着予定時間は 14:30 だが、予定よりも少し早く、14:15 頃に成田空港国際線第二ターミナルに到着した。キャリーケースを受け取った後は、税関を通る。パスポートと携帯品・別送品申告書を提示する。場合によってはお金を払う必要がある。その後は持っているルーブルを日本円に替えるために両替所に向かった。ロシアルーブルを扱っていないところもあるので注意する必要がある。また、硬貨の両替は不可能である。

その後は各々で解散した。帰る手段としては、バスで東京駅まで向かいその後は新幹線に乗り帰宅。成田空港から出ている高速バスを利用する、乗り合いタクシーを利用するなどがあるが、早めに決めておくのがよい。